

## 稲むらの火の館3D津波映像シアターの多言語化対応について

南海トラフの地震による津波に対する備えや自分の身を守る知識を、外国からの訪問者に分かりやすく伝えることを目的として、津波防災教育センター内の3D津波映像シアターに多言語音声再生システムを導入しました。

本日午後2時から、報道機関の皆様を対象とした内覧会を実施します。  
なお、明日10月26日(水)から、システムの運用を開始します。

### ○ 多言語化音声システムの概要

英語、中国語、韓国語、フランス語、インドネシア語の五カ国語に対応しています。  
視聴可能な映像は以下の3本です。

- (1) 「その日、命をまもるために」(平成24年度作製)  
「稲むらの火」や東日本大震災での「釜石の奇跡」の成功例から学ぶことの重要性や命を守るための避難3原則の実践の取組などを紹介する映像
- (2) 「稲むらの火～濱口梧陵の決断～」(平成19年度作製)  
安政の地震・津波の際の濱口梧陵氏の救命活動及び復興への取組とともに、その教訓や防災精神が今も住民に受け継がれていることを紹介する映像
- (3) 「だから今！～南海地震大津波～」(平成19年度作製)  
平成の南海地震が発生し、平穏な県内各地の状況が一転、地震や津波に襲われた町や人の状況を紹介する映像

### 参考

#### ○「稲むらの火の館」の概要

濱口梧陵の偉大な功績や教訓を学ぶ『濱口梧陵記念館』と、津波災害に備え実践的な地震・津波防災を学ぶ『津波防災教育センター』から成る施設として広川町が設置

- ・設置年月 平成19年4月
- ・敷地面積 5,023.16㎡

#### ○「3D津波映像シアター」の概要

津波防災教育センター内に県が整備。立体映像と座席下の振動装置により津波の破壊力を疑似体験できるシアター。

- ・整備年月 平成19年4月
- ・施設座席数:50席

(稲むらの火の館)



(多言語化受信機装着状況)



#### 問い合わせ先

危機管理・消防課 総務計画班 和久田、湯川

Tel:073-441-2271、Fax:073-422-7652